

平成30年度 事業報告書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月31日

一般社団法人全日本テコンドー協会

1. 競技大会開催（選考会含む）（競技委員会）

	大会名	開催日	開催場所	参加人数
1	第11回全日本ジュニア選手権大会 西日本地区予選大会	30・5・13	阿蘇市体育館	113
2	第11回全日本ジュニア選手権大会 東日本地区予選大会	30・5・26	大宮武道館	141
3	JOC ジュニアオリンピックカップ 第11回全日本ジュニア選手権大会	30・7・28, 29	松本市総合体育館	410
4	第12回全日本学生選手権大会	30・9・9	カンポの宿体育館	109
5	第12回全日本選手権大会 東日本地区大会	30・10・14	山梨市総合体育館	74
6	第12回全日本選手権大会 西日本地区大会	30・11・25	兵庫県立武道館	83
7	第12回全日本ブムセ選手権大会	30・2・16	千葉ポートアリーナ	52
8	第12回全日本選手権大会	30・2・17	千葉ポートアリーナ	171
9	第3回全国少年少女選抜選手権大会	31・1・20	カンポの宿体育館	129
10	第2回全日本社会人選手権大会	31・3・3	兵庫県立武道館	79

2. テコンドー競技強化関係（強化委員会）

(1) 合宿

事業名	種目	対象	場所	期間	人数	
					スタッフ	選手
アジアブムセ選手権出場選手	ブムセ	シニア・ジュニア	山梨県甲府市	H30年4月7日～4月8日	5	7
国内強化合宿①	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H30年4月16日～19日	3	7
国内強化合宿②	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H30年5月11日～14日	3	9
国内強化合宿③	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H30年6月8日～11日	5	8
国内強化合宿④	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H30年7月6日～9日	3	4
国内強化合宿⑤	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H30年7月26日～8月1日	9	3
国内強化合宿⑥	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H30年8月3日～6日	3	2
国内強化合宿⑦	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H30年9月9日～9月16日	3	5
国内強化合宿⑧	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H30年10月8日～10日	4	4
国内強化合宿⑨	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H30年11月12日～20日	3	1

国内強化合宿⑩	キョルギ	シニア・ジュニア	岐阜羽島	H30年12月23日～28日	7	11
国内強化合宿⑪	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H30年12月17日～24日	4	2
国内強化合宿⑫	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H31年1月6日～14日	5	2
国内強化合宿⑬	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H31年2月21日～3月5日	5	3
国内強化合宿⑭	キョルギ	シニア	岐阜羽島	H31年3月16日～3月22日	5	8
国内強化合宿⑮	キョルギ	シニア・ジュニア	岐阜羽島	H31年3月22日～3月24日	8	22
海外合宿①	キョルギ	シニア	タイ・バンコク	H30年4月23日～4月28日	2	7
海外合宿②	キョルギ	シニア	タイ・バンコク	H30年4月23日～4月28日	3	2

(2) 国際大会派遣

事業名	種目	対象	場所	期間	人数		成績
					スタッフ	選手	
ユースオリンピック世界予選および世界ジュニア選手権大会	キョルギ	ジュニア	チュニジア・ハマメット	H30年4月2日～4月14日	4	5	ユース（ベスト8）前田秀隆・ユース五輪出場世界ジュニア（ベスト8）村上智奈
アジアプムセ選手権大会	プムセ	シニア・ジュニア	ベトナム	H30年5月21日～5月26日	1	3	
アジア選手権大会	キョルギ	シニア	ベトナム	H30年5月23日～5月29日	3	9	（銅）長野聖子 ベスト8松井優茄 山田美論、江畑秀範
アジア選手権大会	キョルギ	ジュニア	ベトナム	H30年5月23日～5月29日	3	1	ベスト8松井隆太、平林霞
ローマワールドグランプリ	キョルギ	シニア	ローマ	H30年5月30日～6月5日	2	2	
コリアオープン大会	キョルギ	シニア	韓国	H30年7月16日～7月23日	2	6	
コリアオープン	キョルギ	ジュニア	韓国	H30年7月16日～7月23日	4	4	（銅）吉野紗来 ベスト8大谷楓
2018WUXI ワールドカップ	キョルギ	シニア	中国	H30年7月25日～7月30日	3	4	
モスクワワールドカップ	キョルギ	シニア	モスクワ	H30年8月6日～8月14日	1	1	
金雲龍カップ	キョルギ	ジュニア	韓国	H30年8月9日～8月15日	7	21	（金）森川亘、前田秀隆、岩城海翔、泉凱翔、山本さ
アジア競技大会	キョルギ		インドネシア	H30年8月15日～8月25日	3	6	（銅）鈴木セルヒオ、山田美論、梅原麻奈
台北ワールドグランプリ	キョルギ	シニア	台北	H30年9月16日～9月22日	3	3	ベスト8山田美論
マンチェスターワールドグランプリ	キョルギ	シニア	英マンチェスター	H30年10月15日～24日	4	3	（銅）山田美論

3. パラテコンドー競技強化（パラテコンドー委員会）

(1) 合宿

合宿名	合宿期間	開催場所	参加人数
第4回アジアパラテコンドー選手権大会事前合宿	4月16日～19日	羽島市防災ステーション	役員、強化スタッフ2名、選手5名
第1回強化合宿	5月11日～14日	羽島市防災ステーション	役員、強化スタッフ2名、選手6名
第2回強化合宿	7月6日～8日	羽島市防災ステーション	役員、強化スタッフ1名、選手5名
第3回強化合宿	8月3日～6日	羽島市防災ステーション	役員、強化スタッフ1名、選手5名
第4回強化合宿	9月10日～16日	羽島市防災ステーション	役員、強化スタッフ1名、選手5名
第5回強化合宿	10月9日～15日	羽島市防災ステーション	役員、強化スタッフ2名、選手5名
第6回強化合宿	11月13日～19日	羽島市防災ステーション	役員、強化スタッフ1名、選手5名
第7回強化合宿	12月18日～25日	羽島市防災ステーション	役員、強化スタッフ1名、選手5名
第8回強化合宿	1月7日～13日	羽島市防災ステーション	役員、強化スタッフ1名、選手5名

(2) 国際大会派遣

大会名	派遣期間	開催場所	参加人数	結果
第4回アジアパラテコンドー選手権大会	5月21日～25日	ベトナム、ホーチミン	役員、強化スタッフ3名、選手6名	K43-61kg 阿渡健太2位 K43-75kg 田中光哉3位 K44+58kg 太田渉子3位
第7回ヨーロッパパラテコンドー選手権大会	6月6日～6月12日	ブルガリア、プロブディフ	役員、強化スタッフ3名、選手6名	K43-75kg 田中光哉3位 K44-75kg 工藤俊介3位
第8回世界パラテコンドー選手権大会	1月31日～2月8日	トルコ、アンタルヤ	役員、強化スタッフ3名、選手6名	K44-75kg 工藤俊介3位 K44+58kg 太田渉子3位
2019US オープンパラテコンドー選手権大会	2月25日～3月3日	アメリカ、ラスベガス	役員、強化スタッフ1名	K44-61kg 伊藤力3位 K44+58kg 太田渉子3位

(3) ATU コーチライセンスセミナー参加

5月21日 ベトナム、ホーチミン（参加者）高木伸幸、木下まどか

(4) 体験会

開催日	場所	参加人数
4月25日	東大駒場キャンパス	協会関係者4人、参加者23人
5月30日	パラサポ	協会関係者3人、参加者15人
6月27日	パラサポ	協会関係者2人、参加者8人

7月20日	パラサポ	協会関係者6人、参加者9人
8月22日	パラアリーナ	協会関係者3人、参加者13人
9月19日	パラアリーナ	協会関係者4人、参加者4人
10月17日	パラアリーナ	協会関係者5人、参加者8人
12月19日	東大駒場キャンパス	協会関係者2人、参加者8人
1月9日	パラアリーナ	協会関係者2人、参加者6人
3月18日	パラアリーナ	協会関係者2人、参加者10人

(5) 平成30年度パラテコンドー下期強化指定育成指定選手選考会

開催日 平成30年9月2日(日)

場 所 日本財団パラアリーナ

参加人数 9人

一般観覧 55人

概 要

「雨上がりの地図支援金」により50万円いただき、日本財団パラアリーナを使用することにより、会場費用無料で行うことができた。一般観覧者を50人に制限して募集を行い、選考会終了後に選考会参加選手や、協会理事(岡本副会長、舘理事)による体験会を開催した。

(6) パラテコンドー委員会会議

① 平成30年度第1回パラテコンドー委員会

平成30年9月2日 日本財団パラアリーナ会議室

② 平成30年度第2回パラテコンドー委員会

平成31年2月24日 日本財団パラリンピックサポートセンター会議室

4. 選手選考(選考委員会)

(1) 大会関係

① 選考時期 2018年8月

プムセ事業 2018年世界プムセ選手権大会 2018年11月15-18日台北で開催
2018年書面決議で選手派遣を図ったが、全理事の承認を得ることができず、派遣中止。

② 選考時期 2018年9月

パラテコンドー事業 平成30年度(2018年)下期パラテコンドー強化指定選手・育成指定選手の「選考基準」の承認
下期強化指定選手を決めるため9月2日、日本財団パラアリーナにて選考会を実施した。

- ③ 選考時期 2018年11月
パラテコンドー事業 2019年2月 世界パラテコンドー選手権大会 トルコ・アンタルヤ
パラテコンドー委員会案を審議して、承認

(2) 強化指定関係他

- ① 選考時期 2018年11月
キョルギ事業 2019年世界選手権代表選考基準、2019年千葉GP代表選手選考基準、2020年東京オリンピック代表選手選考基準
選考説明会を2018年第1回9月24日(岸記念体育館)、第2回11月7日(岸記念体育館)にて実施
選手所属の道場、会社、学校関係者(希望者)に対して説明会を実施
1回目説明会は多くの問題提起をいただいた、それを踏まえ第2回は選考のロードマップを提示することにより、関係者理解を得ることができた(強化委員会が主催した)
- ② 選考時期 2019年1月
キョルギ事業 アジアジュニア選手権大会(2019年7月22、23日ヨルダン・アンマン)代表選手選考基準、アジアカデット選手権大会(2019年7月20、21日ヨルダン・アンマン)代表選手選考基準
選考会(2019年4月30日千代田学園にて実施)ジュニア 男子5階級 女子4階級、カデット男子2階級 女子2階級、計13名を承認
- ③ 選考時期 2019年2月
パラテコンドー事業 平成31年度(2019年)年間パラテコンドー強化指定選手・育成指定選手の「選考基準」の承認
パラテコンドー委員会は貢献ポイント制で年間選手を評価して結論を出した
- ④ 選考時期 2019年3月
キョルギ・プムセ事業 第30回ユニバーシアード競技大会(2019年8月イタリア ナポリ)代表選手選考基準
第12回全日本選手権大会の結果により承認 キョルギ 男子2階級 女子3階級にて派遣、プムセ女子個人1名、計6名を承認
- ⑤ 選考時期 2019年3月
プムセ事業 プムセ強化指定選手選考基準
強化指定選手男子7名、女子10名、育成指定選手男子6名、女子7名、計30名を承認
- ⑥ 選考時期 2019年3月
キョルギ事業 JOC強化指定選手 男子2名、女子4名を承認

シニア S 強化指定選手 男子 6 名 女子 5 名を承認
 シニア A 強化指定選手 男子 9 名 女子 7 名を承認
 ジュニア A 強化指定選手 男子 7 名 女子 7 名を承認
 ジュニア B 強化指定選手 男子 9 名 女子 5 名を承認
 カデット 強化指定選手 男子 8 名 女子 8 名を承認

シニアに関しては、第 12 回全日本選手権大会、ジュニアとカデットに関しては第 11 回（2018）全日本ジュニア選手権大会、2019 年全国少年少女選抜選手権大会を参考にして強化委員会案を審議して、承認した

5. 審判関係（審判委員会）

(1) 国内大会派遣

下記の大会に審判員を派遣した。

事業名	コート数
第 12 回全日本ジュニア選手権 西日本地区大会	2 コート
第 12 回全日本ジュニア選手権 東日本地区大会	2 コート
第 12 回全日本ジュニア選手権（プムセ）	2 コート
第 12 回全日本ジュニア選手権（キョルギ）	6 コート
第 13 回全日本学生選手権（プムセ）	1 コート
第 13 回全日本学生選手権（キョルギ）	3 コート
第 13 回全日本選手権 東日本地区大会	2 コート
第 13 回全日本選手権 西日本地区大会	2 コート
第 4 回少年少女選抜（プムセ）	1 コート
第 4 回少年少女選抜（キョルギ）	3 コート
第 13 回全日本選手権（プムセ）	2 コート
第 13 回全日本選手権（バラ）	1 コート
第 13 回全日本選手権（キョルギ）	4 コート
第 3 回全日本社会人選手権（プムセ）	1 コート
第 3 回全日本社会人選手権（キョルギ）	2 コート

(2) 審判講習会の実施

下記のとおり実施した。

地区	参加者数			講師		
	ライセンス	リフレッシュ	合計			
九州	1	15	16	高橋大輔	中野哲史	
東海	10	12	22	高橋大輔	中野哲史	
関東	9	29	38	高橋大輔	中野哲史	高木伸幸
関西	12	11	23	阪口朗	中野哲史	
関西（四国）	2	10	12	桜岡東寛	中野哲史	
合計	34	77	111			

6. 昇段関係（昇段審査委員会）

(1) 昇段審査（3・4段）

東海、関西ブロック	2019年2月24日（日）	羽島市防災ステーション	4段5名、3段3名
九州ブロック	2018年6月17日（日）	佐賀県川副武道館	4段2名、3段2名

※関東ブロックは受験者がいないため実施せず。

(2) 昇段審査統一基準の施行

昇段審査統一基準プロジェクトチームを立ち上げ、全国的に統一した昇段審査基準を策定し、平成30年度より統一した昇段審査基準に基づく昇段審査を実施した。

7. 医科学関係（医科学委員会）

(1) 公式大会救護の管理運営

全ての競技会・選考会において管理及び運営補助を行った。特に大きな怪我等は無く無事に1年を終えた。

(2) アンチドーピング活動

① ドーピング検査

全日本選手権において8名の検査が行われました。

② アンチドーピング啓発活動

全日本学生選手権大会及び全日本少年少女大会においてアウトリーチプログラム

実施した。また、強化合宿においてアンチドーピング研修会を4回行いました。

8. 普及関係（普及育成委員会）

(1) 演武団ドラゴンキッカーの派遣演武

実施日	実施イベント	実施場所
H30.5.27	第11回全日本ジュニアテコンドー選手権大会 東日本地区大会	埼玉県戸田市
H30.11.3	ぎふ羽島駅前フェス 2018	岐阜県羽島市

(2) 普及イベントの実施

実施日	活動内容	実施場所	参加者
H30.8.17-18	東京 2020 Let's 55 (Tokyo2020 競技体験プロジェクト)	三井ショッピングセンターららぽーと豊洲	来場者 505 名 体験者 109 名
H30.10.6-7	スポーツ博覧会・東京 2018	駒沢オリンピック公園	体験者約 200 名
H30.10.8	第18回めぐろスポーツまつり	碑文谷体育館 (目黒区)	30 名

(3) 直轄会員対応

1名の直轄会員に対し、7月の青駐神戸大韓民国総領事杯 第12回青龍会オープンテコンドー選手権大会エントリーへの対応

9. アスリート関係（アスリート委員会）

(1) 国内大会でのアスリートボイス収集 活動実績（7回）

- 7月 全日本ジュニア選手権大会
- 9月 全日本学生選手権大会
- 10月 全日本選手権東日本地区大会
- 11月 全日本選手権西日本地区大会
- 1月 全国少年少女選手権大会
- 2月 全日本選手権大会
- 3月 社会人選手権大会

(2) 国内合宿でのアスリートボイス収集 実績（全10回※アンケート含む）

- 4月 プムセ合宿 岐阜羽島月例合宿

8月 岐阜羽島月例会合宿

9月 9月度月例会岐阜羽島強化合宿

(アンケートでの収集) 4月、5月、6月、7月、8月、12月、3月

(3) アスリート委員会会議開催

予算を別途確保していましたが、LINE およびメールでの会議とし予算の利用はなし。

(4) 選手のセカンドキャリア支援実績

社会人選手の所属企業支援としてメルマガでの情報発信 (5回)

<送信先>

ムジャキフーズ、城北信用金庫、ソケッツ、ダイテックス、ダイキ、武蔵野銀行、東京書籍、スターティア、三城商事、親和銀行、ヤマト、ECC、大分ケーブルテレコム株式会社、NRE、アディダスジャパン、JOC アスナビ担当者

10. マーケティング関係事業 (マーケティング委員会)

スポンサー獲得のため協賛プログラムの見直しを行った。

11. 広報関係事業 (広報委員会)

(1) 2020東京オリンピック・パラリンピックの開催が迫り取材数が多くなってきたこととともない、テコンドー担当者とパラテコンドー担当者に分けて、取材対応を効率よく行う体制を構築した。

(2) 取材について選手に過度に負担とならないように、選手、所属先等とさらに連携を図る体制を構築した。

12. コンプライアンス関係 (コンプライアンス委員会)

(1) コンプライアンス相談窓口を運営し、8件の相談実績があった。

(2) 選手・指導者・役職員等を対象としたコンプライアンス研修を実施した。

① 選手・指導者対象 コンプライアンス研修 (H30.4)

② 選手・指導者対象 コンプライアンス研修 (H30.5)

③ 役職員対象 ガバナンス・コンプライアンス研修 (H30.6)

④ 選手・指導者対象 コンプライアンス研修 (H30.8)

⑤ 選手・指導者対象 コンプライアンス研修 (H30.11)

⑥ 選手・指導者対象 コンプライアンス研修 (H31.3)

(3) 処分規程に基づく調査

3 事案について調査を実施した。

(4) スポーツ仲裁対応

理事会で処分決定した事案のうち 1 名がスポーツ仲裁に不服申立を行い、これに対応し、和解終了した。

13. 処分関係（裁定委員会）

3 事案について裁定意見を理事会に具申した。

14. 総務関係（総務委員会）

(1) 会員の状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

個人会員	1939 人
正会員	22 人
賛助会員	1 人

(2) 加盟団体・準加盟団体の状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

加盟団体	23 団体
準加盟団体	8 団体

平成 30 年度に新規に加盟した団体（準加盟）は 2 団体（三重・石川）であった。
また、山形県テコンドー協会が正加盟から準加盟に変更となった。

15. 千葉GP組織委員会

(1) 組織委員会会議

会議名	会議日	会議場所	参加人数
第 1 回組織委員会会議	平成 30 年 10 月 17 日	日本財団パラリンピック サポートセンター会議室	組織委員会 7 名、オブザーバ 2 名
第 2 回組織委員会会議	平成 30 年 11 月 16 日	日本財団パラリンピック サポートセンター会議室	組織委員会 7 名、オブザーバ 2 名
第 3 回組織委員会会議	平成 30 年 12 月 25 日	日本財団パラリンピック サポートセンター会議室	組織委員会 6 名、オブザーバ 3 名
第 4 回組織委員会会議	平成 31 年 1 月 25 日	日本財団パラリンピック サポートセンター会議室	組織委員会 6 名、オブザーバ 2 名
第 5 回組織委員会会議	平成 31 年 2 月 22 日	日本財団パラリンピック サポートセンター会議室	組織委員会 7 名、オブザーバ 2 名
第 6 回組織委員会会議	平成 31 年	日本財団パラリンピック	組織委員会 7 名、オブザーバ 5 名

	4月12日	サポートセンター会議室	
--	-------	-------------	--

(2) その他打ち合わせ

打ち合わせ名題	内容	回数	参加者
収支予算検討会議	グランプリ大会の収支予算の検討会議	6回	小野原、安藤、阿部、木下 (AJTA)
GP 千葉市・千葉県連絡協議会	組織委員会立ち上げ前の準備段階での話し合い、組織委員会立ち上げ後も継続している	組織委員会立ち上げ前から10回程度	小野原、安藤、高木 (AJTA) 千葉市、千葉県
近畿日本ツーリストとの打ち合わせ	競争入札によって決めた、輸送、宿泊、食事業務の委託会社との打ち合わせ	平成30年2月から1カ月に1回~2回のペースで7回程度	小野原、木下、安藤、高木 (AJTA) KNT
その他関連会社との打ち合わせ	KPNP、シミズオクト、エキスプレススポーツ、ポートアリーナ、ワンフィフティ、ホテル、	10数回	小野原、安藤、木下、高木 (AJTA) 各社代表

以 上